

## 府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(第6期)アンケート調査一覧(案)

	調査名	目的	対象者	サンプリング
1	高齢準備期調査	市内に居住する60～64歳の市民の健康づくりの取り組み状況や生活習慣、認知症等についての意識、社会活動への参加状況等を把握し、団塊世代の社会参加の具体化に向けた方策を検討する。 (調査項目例:健康づくりへの取組み、地域のつながり、災害時の対応など)	市内に居住する60～64歳の市民 600人	平成25年9月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出
2	高齢者一般調査	市内に居住し、要支援・要介護認定を受けていない高齢者の意識と生活実態を把握し、サービスの潜在需要や介護予防の具体化に向けた方策を検討する。 (調査項目例:医療の状況や介護予防、認知症、住民参加、災害時の対応など)	市内に居住する65歳以上の市民 2,000人(要支援・要介護認定者を除く)	平成25年9月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出
3	介護予防に関する調査	市内に居住し、健康診査等の結果により介護予防の必要性が高いと判定された人の介護予防の取り組み状況と生活実態を把握し、介護予防の具体化に向けた方策を検討する。 (調査項目例:健康づくりの取組み、介護予防、地域のつながりなど)	健康診査等の結果により介護予防の必要性が高い人の中から300人	対象者から無作為抽出
4	介護保険居宅サービス利用者調査	介護保険居宅サービス利用者のサービスの利用状況と利用意向を把握し、サービス水準の目標設定やサービスと保険料の妥当性などの検討を行うための参考とする。 (調査項目例:介護保険、居宅サービスの満足度、高齢者の権利擁護など)	65歳以上介護保険居宅サービス利用している人の中から1,500人	対象者から無作為抽出
5	介護保険施設サービス利用者調査	介護保険施設サービス利用者の入所までの状況や施設での生活・サービスの利用状況を把握し、サービス水準の目標設定やサービスと保険料の妥当性などの検討を行うための参考とする (調査項目例:入所までの期間、施設での生活やサービスなど)	65歳以上で介護保険施設サービスを利用している人の中から 500人	対象者から無作為抽出
6	介護保険サービス未利用者調査	介護保険サービス未利用者の未利用であった理由と、今後の利用者意向などを把握し適正なサービス利用につなげる方策を検討するための参考とする。 (調査項目例:介護保険サービスの利用、保健福祉サービスなど)	要支援・要介護認定を受けた人で介護保険サービスを利用していない人の中から500人	対象者から無作為抽出
7	医療と介護の連携調査(介護者)	認知症の人の家族介護者への調査を行い、介護の実態や介護負担等を把握することで、これからの介護支援や家族支援のあり方を探る。 (調査項目例:介護保険サービス、医療、介護負担、必要な支援策など)	認知症高齢者の家族 300人	ケアマネジャー経由
8	高齢者日常生活圏域ニーズ調査	市内に居住し、要支援・要介護認定を受けていない高齢者及び要支援1から要介護2までの要支援・要介護認定を受けている人の家族や生活状況、身体状況や外出の状況、転倒予防の状況等を把握し、生活支援の必要性等を検討するための参考とする。 (調査項目例:身体状況、外出状況、健康状態、社会参加など)	市内に居住する65歳以上の市民および要支援1～要介護2までの認定を受けている市民の中から2,500人	対象者から無作為抽出
9	居宅介護支援事業者調査	市内に事業所を設置し、市内在住の高齢者の居宅介護計画(ケアプラン)を作成している地域包括支援センター・在宅介護支援センター及び居宅介護支援事業所の事業の状況や、今後の事業展開、市への意見や要望等を把握し、介護保険制度の適切な運営に向けた方策を検討するための参考とする。 (調査項目例:質の向上への取組み、医療との連携、災害時への備えなど)	府中市内の要支援・要介護認定者のケアプランを作成している居宅介護支援事業所50か所程度	対象者から無作為抽出
10	ケアマネジャー調査	市内に事業所を設置し、市内在住の高齢者の居宅介護計画(ケアプラン)を作成しているケアマネジャーのケアマネジャー業務の状況や、ケアマネジャー業務全般の考えや医療と介護の連携の状況を把握し、介護保険制度の適切な運営に向けた方策や医療と介護の連携の方策を検討するための参考とする。 (調査項目例:サービスの状況、医療との関わり、業務全般の考えなど)	市内の居宅介護支援事業所に在籍するケアマネジャー150人程度	対象者から無作為抽出
11	介護保険サービス事業者調査	市内に事業所を設置し、市内在住の高齢者に予防・居宅介護サービス提供事業者及び施設サービスを提供している事業者の事業所における実情や、今後の事業展開、市への意見や要望等を把握し、介護保険制度の適切な運営に向けた方策を検討するための参考とする。 (調査項目例:質の向上への取組み、介護・医療の連携、災害時への備えなど)	市内で事業を展開している予防・居宅サービス及び施設サービス提供事業者100か所	対象者から無作為抽出
12	医療と介護に関する調査(医療機関・かかりつけ医)	市内の医療機関等を対象に、高齢者が在宅療養生活を送る上での医療と介護の連携の現状について調査を行う。また今回は、認知症等疾病の早期発見と対応にかかりつけ医と地域包括支援センター、ケアマネジャー等との連携が欠かせないことから、継ぎ目のない連携のあり方を考える視点からも調査を行う。 (調査項目例:診療状況、ケアマネ・介護事業所との連携方法、意向など)	市内の医療機関・かかりつけ医 (事前に医師会との調整が必要)	名簿提供いただき調査